

WEEKLY SIGNAL

2019年5月10日(金) 1473号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	5/13(月)	5/14(火)	5/15(水)	5/16(木)	5/17(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券	+ 4,100	+ 4,000	+ 4,000	+ 2,000	トシ
財政他	△ 6,600	△ 7,000	△ 1,000	+ 1,000	△ 19,000
資金需給	△ 2,500	△ 3,000	+ 3,000	+ 3,000	△ 19,000
主要要因	物価連動国債発行(10年) 国庫短期証券発行・償還(3M)	源泉税揚げ	国債償還(2年) 国債発行(30年)		国債発行(5年)
オペ期日	共通担保 補充供給 △ 4,100 + 200				被災地支援 △ 300
オペスタート	共通担保 + 3,000				
(日本)	景気動向指数(3月)	国際収支(3月) 日銀営業毎旬報告(5月10日現在)	マネーストック(4月)	国内企業物価指数(4月)	
(海外)	米ボストン連銀総裁と クラリタFRB副議長、 連銀イベントで開会挨拶	米ニューヨーク連銀総裁、講演 米カンザスシティ連銀総裁、講演 米輸入物価指数(4月) ユーロ圏 鉱工業生産(3月)	米リッチモンド連銀総裁、講演 米鉱工業生産(4月) ユーロ圏 GDP(1Q)	米ミネアポリス連銀総裁、講演 米新規失業保険申請件数 (11日終了週) ユーロ圏 財務相会合 (ユーログループ、ブリュッセル)	米ニューヨーク連銀総裁、 地域会合に参加 米景気先行指標総合指数(4月) 米シカゴ大学消費者マインド指数(5月) 欧EU財務相理事会(ブリュッセル) ユーロ圏 CPI(4月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.045 ~ 0.020
SPOT 2M	△0.045 ~ 0.020
SPOT 3M	△0.030 ~ 0.030
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初397兆2,600億円から始まった。その後9日に税・保険揚げを主因として大きく減少し、週末10日に394兆2,300億円で越えた。無担保コールON物加重平均金利は、大型連休明けとなる週初△0.070%から始まった。その後は日銀当座預金の基礎残高・マクロ加算残高の調整を目的とした調達ニーズが強まり、週末10日に同加重平均金利は△0.033%まで上昇した。ターム物は1W~2W物を中心に、主に△0.055%~△0.040%の水準で出合が見られた。国内で大型連休中であった1日、アメリカで連邦公開市場委員会(FOMC)が開催され、米連邦準備理事会(FRB)は、政策金利の誘導目標を2.25%~2.50%で据え置いた。政策金利の据え置きは、3会連続となった。来週の主な予定は、国内では景気動向指数(3月)の公表(13日)や、国際収支(3月)の公表(14日)などがあり、海外ではユーロ圏GDP(第1Q)の公表(15日)や、ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル、16日)、EU財務相理事会(ブリュッセル、17日)などがある。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.010 ~ 0.000
TDB 3M	△0.200 ~ △0.130
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

<C P>

今週の入札発行総額は約2,900億円で、週間償還額(約6,000億円)に対し償還超となった。発行市場は、石油や鉄鋼業等の大型案件が散見されたものの、やや閑散なマーケットであった。市場残高は、9日時点で先週末の20兆141億円とほぼ横ばいの20兆442億円程度となっている。発行レートは、投資家・ディーラー等の積極的な購入ニーズから、引き続き0%からマイナスでの出合いであった。来週の償還総額(5/13~5/17)は、4,900億円程度となっている。発行市場は5・10日発行もあり、新規案件が増加し発行超になると思われる。発行レートは、ディーラーや投資家の運用ニーズが引き続き強く、0%からマイナスレートでの出合いとなろう。CP等買入オペアが、16日に2,500億円程度オファーされる予定となっている。

<TDB>

大型連休明けの今週の国庫短期証券市場は、入札が3回実施されたものの、需要が底堅く連休前と横ばいの地合いとなった。8日入札の3M829回債は最高落札レート△0.1409%(前回債△0.1358%)、平均落札レート△0.1492%(同△0.1552%)、9日入札の6M830回債は、最高落札レート△0.1458%(前回債△0.1674%)、平均落札レート△0.1518%(同△0.1713%)、10日入札の3M831回債は最高落札レート△0.1526%、平均落札レート△0.1602%であった。セカンダリー市場では3M物は△0.160%程度、6M物が△0.152%程度、1Y物が△0.168%程度の出合となった。来週は16日に1Y、17日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

足許GC取引は週初△0.095%~△0.105%の出合い。以降短回の発行が続き、レートが上昇する展開。9日受け渡しは前場△0.085%~△0.09%から始まり、後場△0.07%近辺。10日受け渡し以降は△0.05%~△0.07%の出合いが続いた。SC取引では5年139回債のbidが多く、週前半は△0.20%近辺~△0.20%台後半が出合いの中心。10年354回債は、入札日前日△0.10%台前半で多く取引された。他2年398・399・400回債、5年137・138回債、10年338・339・340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350・351・352・353回債、20年164・165・166・167・168回債、30年59・60・61・62回債、40年10・11回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。